



昭和大学学士会
後援セミナー

デンチャープラーク研究から 始まった

L8020乳酸菌とEtakの研究

◇ う蝕や歯周病などの原因であるプラークは、歯の表面に形成されるバイオフィルムであり、その形成には、

- ①口腔内の微生物同士の相互作用、
- ②修復物などの成分や表面の性質、
- ③生体の反応や浸出液などの生体成分の3者の相互作用がかかわっています。

◇ 最近、逆にこれらを利用してバイオフィルムの抑制を行うことを考え、色々な取り組みの中で、う蝕や歯周病あるいは感染症などのリスクを下げることでいくつもの製品の研究・開発についてご紹介いたします。

広島大学大学院 医系科学研究科
口腔生物学分野

講師

二川 浩樹 教授

略 歴

【経歴】

昭和36年12月 広島市生まれ

昭和61年 広島大学歯学部 卒業

平成2年 広島大学大学院歯学研究科修了 歯学博士

平成4年 香港大学 Prince Philip Dental Hospital Oral Biology講座 客員研究員

平成10年 広島大学歯学部附属病院講師

平成17年 広島大学歯学部 教授

平成21年4月～ 広島大学大学院 教授

【その他(受賞歴)】

平成25年4月16日 平成25年度文部科学大臣表彰 科学技術賞

平成26年11月10日 広島大学学長表彰

令和3年3月18日 「ジャパン・レジリエンス・アワード」 「STOP感染症大賞最優秀賞」

令和3年9月24日 第36回広島県歯科保健文化賞

令和4年10月28日 公益社団法人発明協会 令和4年度中国地方発明表彰「文部科学大臣賞」

開催日 2023年 10/20 (金)

時間 18:00～19:30

会場

歯科病院6階
第一臨床講堂

歯学部歯科補綴学講座主催

担当者:大澤 (内線237)